

認定理学療法士制度

認定理学療法士の取得

申請要件

1. 指定研修カリキュラムの受講
2. 臨床認定カリキュラムの受講
 - 1) 必須科目
 - 2) 選択科目
3. 日本理学療法学会研修大会の参加

申請

認定試験

合格

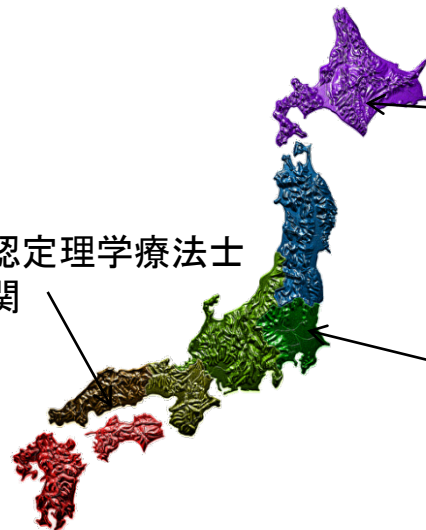
認定証



臨床認定カリキュラム教育機関

- 教育機関を全国から公募
- 医療機関、養成校、士会等が多様な組織が教育機関となる
- 審査にて教育機関と認定する

脳卒中認定理学療法士
教育機関



脳卒中認定理学療法士教育機関

脳卒中認定理学療法士教育機関

「日本理学療法士協会認定理学療法士認定証」を発行

認定理学療法士の認定分野

- ・表記は、〇〇認定理学療法士とする。
- ・旧制度での領域は既存分野とし、現制度でも継続する。※基礎領域のみ廃止(専門理学療法士へ移行)
- ・分野の新規新設および統廃合は順次検討していく。

| 現行 認定理学療法士 (2022年3月まで) | 新制度 認定理学療法士 (2022年4月以降) |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| 認定理学療法士 (ひとを対象とした基礎領域) | 基礎理学療法 専門理学療法士 (基礎領域の認定廃止) |
| 認定理学療法士 (動物・培養細胞を対象とした基礎領域) | |
| 認定理学療法士 (脳卒中) | 脳卒中認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (神経筋障害) | 神経筋障害認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (脊髄障害) | 脊髄障害認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (発達障害) | 発達障害認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (運動器) | 運動器認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (切断) | 切断認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (スポーツ理学療法) | スポーツ理学療法認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (徒手理学療法) | 徒手理学療法認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (循環) | 循環認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (呼吸) | 呼吸認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (代謝) | 代謝認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (地域理学療法) | 地域理学療法認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (健康増進・参加) | 健康増進・参加認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (介護予防) | 介護予防認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (補装具) | 補装具認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (物理療法) | 物理療法認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (褥瘡・創傷ケア) | 褥瘡・創傷ケア認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (疼痛管理) | 疼痛管理認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (臨床教育) | 臨床教育認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (管理・運営) | 管理・運営認定理学療法士 |
| 認定理学療法士 (学校教育) | 学校教育認定理学療法士 |

認定理学療法士 申請要件の詳細

| 科目群 | コマ数（時間） | 研修形式 | 主催 |
|-----------------------|----------------------|-------------------------|------------------------------|
| 指定研修カリキュラム | 12コマ (18時間) | eラーニング | 協会 |
| 臨床認定カリキュラム (必須・選択) | 必須15コマ (22.5時間) | オンラインor 対面 (教育機関による) | 教育機関 |
| | 選択5コマ以上 (7.5時間以上) | | |
| 日本理学療法学会研修 大会の参加※ | 全日程参加 | 各大会による | 協会（都 道府県理 学療法士 会運営） |

※大会によって参加と見なされる要件を提示予定

認定理学療法士「指定研修カリキュラム」科目名

| 科目名 | コマ数 | 科目名 | コマ数 | 科目名 | コマ数 |
|------------------|-----|---------------------------|-----|-------------------------|-----|
| 医療安全学： 医療倫理 | 1 | チーム医療論 (タスクフォース/シエを含む) | 1 | 臨床推論 | 1 |
| 医療安全学： 医療安全管理 | 1 | 相談・指導 | 1 | 運動学習 | 1 |
| 医療安全学： 理学療法管理 | 1 | 認定理学療法士の役割 - 科学と政策提言 - | 1 | 労務・職場管理 | 1 |
| 医療安全学： 感染管理 | 1 | 医療面接 | 1 | 足病変予防の 理学療法 (共通編) | 1 |

認定理学療法士「臨床認定カリキュラム・必須」科目名 (例. 脳卒中分野)

| 科目名 | コマ数 | 科目名 | コマ数 | 科目名 | コマ数 |
|-------------------------|-----|---------------------------|-----|-----------------------|-----|
| 正常な構造・機能と疾病の基礎 | 1 | 脳卒中後の高次脳機能障害に対する理学療法 | 1 | 終末期における理学療法 | 1 |
| 医学的診断と治療介入 | 1 | 脳卒中後の活動・参加制限に対する理学療法 | 1 | 自立支援や疾病管理の補助具、機器とその活用 | 1 |
| 理学療法介入の意義と理学療法士の役割 | 1 | 早期離床と合併症予防のための急性期理学療法 | 1 | 発症予防、重症化予防、再発予防 | 1 |
| 疾患によって生じる障害とその評価および予後予測 | 1 | 機能回復と日常生活活動自立に向けた回復期理学療法 | 1 | 患者・家族教育の意義とその方法 | 1 |
| 脳卒中後の運動機能障害に対する理学療法 | 1 | 在宅生活の充実と社会参加促進のための生活期理学療法 | 1 | 社会資源の活用 | 1 |